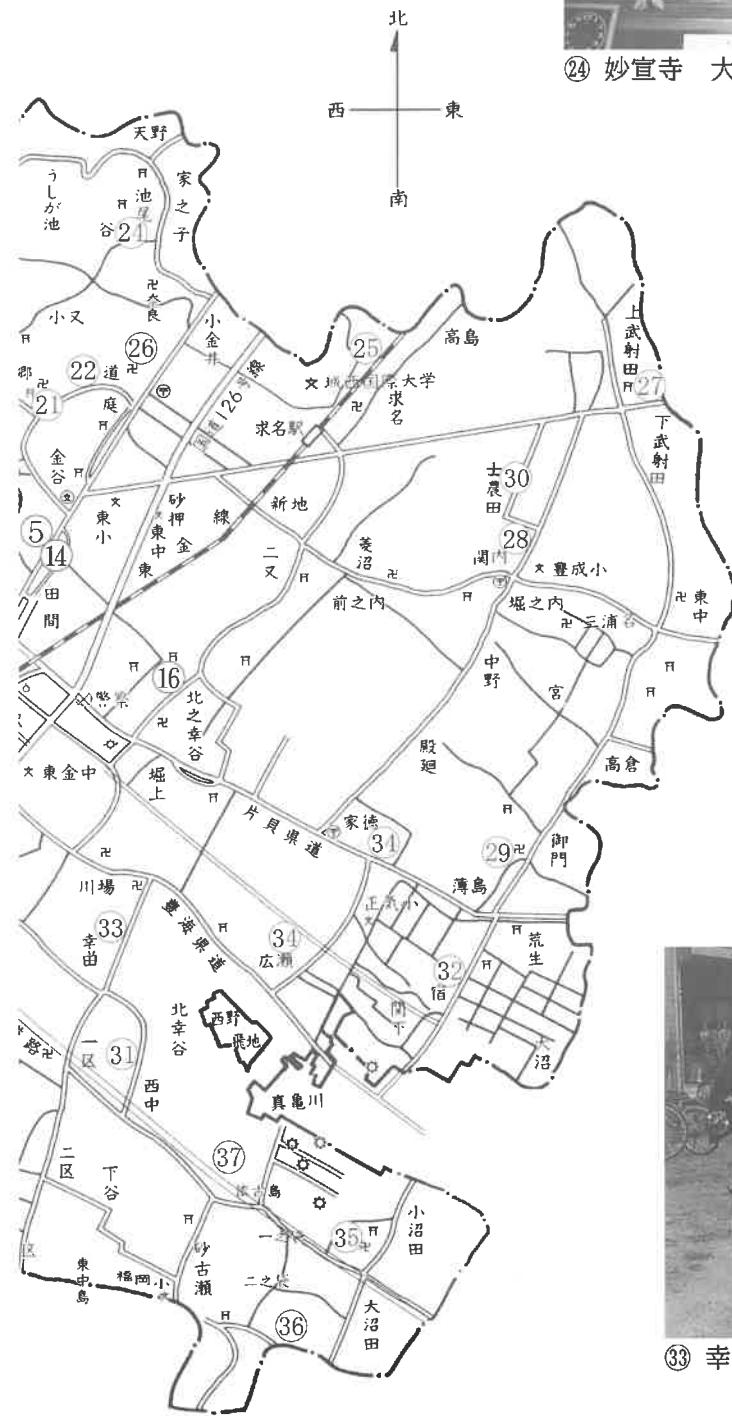


身近に感じる東金の歴史



②4 妙宣寺 大絵馬



㉗ 武射神社 夏越の神事



③7 大関城址



◎幸田獅子舞



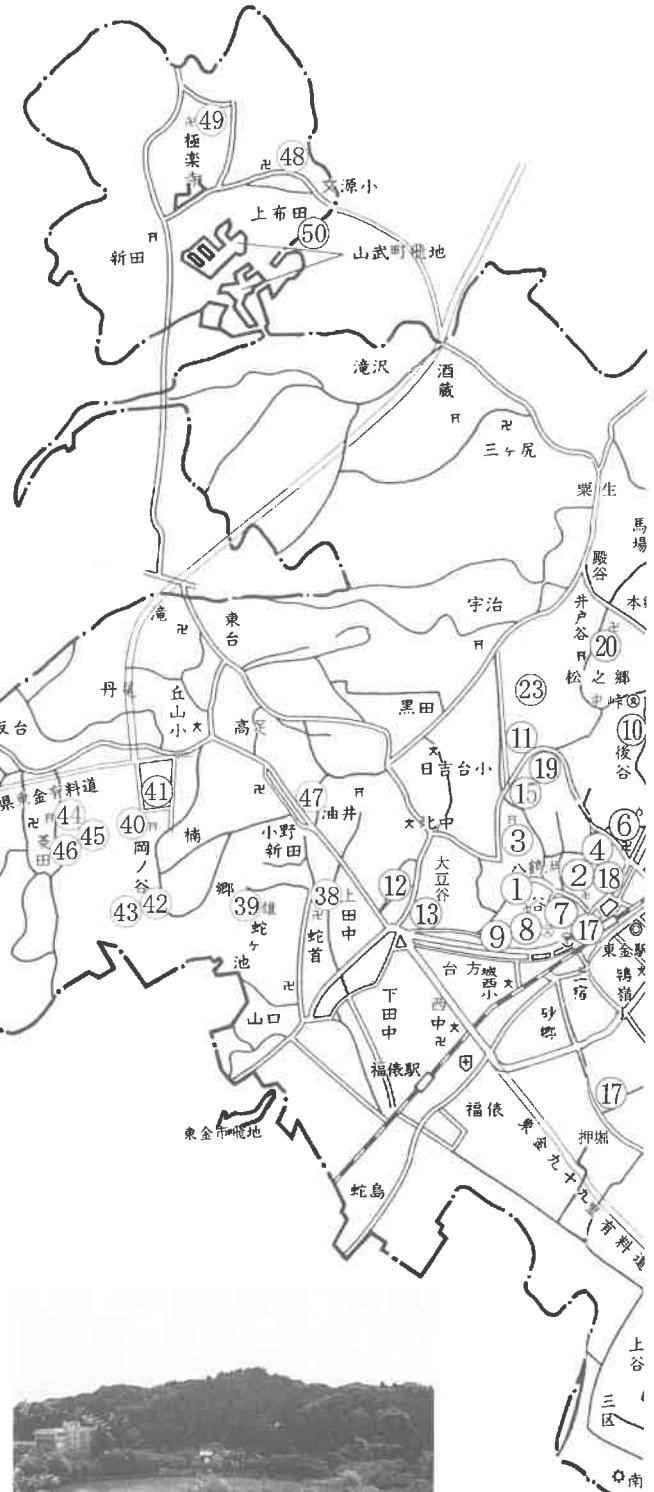
③ 日吉神社祭礼



④ 三社神社 農耕絵馬



④ 貴船神社 御神的神事



⑤ 雄蛇ヶ池



⑦ 八鶴湖 (城山)

【東金地区】

① 最福寺（東金）

・智者大師画像

智者大師画像は縦二百七センチメートル、横七十五センチメートルで、絹の布に描かれています。この画像は、延暦二十三年（八〇四）に最澄が唐（今の中華人民共和国）に仏教を学びに渡った際に、恒翼和尚から帰国の餞別として贈られたものが、後に最福寺に届けられたものだといわれています。

・釈迦入滅涅槃像

お釈迦さまの入滅を絵にした涅槃図は各地の寺にありますが、最福寺には室町時代に描かれたといわれているものが伝わっています。丈二・六三メートル、幅一・八八メートルもある大きなものです。また、この涅槃像は全面刺繡によるもので極めて珍しいものです。誰が作ったのかわかりませんが、貴重な文化財といえるでしょう。

入滅…釈迦の死、または高僧の死をいう

・大黒天像

大黒天堂にまつられています。運慶の作であると伝えられ、寺宝とされています。像高七十センチメートルで銅色にぬられた木像です。大黒天は、インドから中国を

運慶…鎌倉時代初期の彫刻家

経て日本に伝わった神で、今では食物にかかる厨（台所）の神となり、人々に福音をもたらすとされています。

・多羅葉

葉の裏に傷をつけると傷痕が残るので、写經の材料とされていました。葉書の語源だといわれています。この木が最福寺に植えられたのは、天明四年（一七八四）のことです、現在では樹高約二十メートルの大木となっています。

・鰐口

鰐口は仏堂の前にかけつるす銅製の仏具です。最福寺のものは、直径七十五センチメートルの大きさがあり、銘に天文二十年（一五五一）最福寺第二世住持日繁の時に、題目講の人々によつて寄進されたとあります。

② 本漸寺（東金）

・大檀那酒井氏一類の供養塔

永正（十六世紀）天正年間（十六世紀）にこの地を治め、今日の東金の基礎を築いた酒井氏一族の供養塔です。永正六年（一五〇九）、土氣から田間城に進出した酒井小太郎定隆は、大永元年（一五二二）には、東金城に移りました。この時から定隆—隆敏—

写經…経文を書き写すこと

寄進…社寺などに金錢物品を寄付すること

本漸寺・東金市の寺院 44 ページ

敏治—敏房—政辰と五代七十年間にわたり、この地を治めましたが、天正十八年（一五九〇）豊臣秀吉の軍勢によつて東金城は陥りました。しかし、政成の子・政成は、後に徳川家康によつて旗本に取り立てられました。この供養塔は、政成の孫・政直が正保四年（一六四七）に建立したもので、本漸寺本堂脇の小高い墓地の中ほどに建てられています。

• 北条伝馬手形

本漸寺の第四世日殷大僧正が京都から東金に下向する途中、天正十一年（一五八三）小田原城主北条氏政から下賜されたもので、「伝馬三疋を出すべし 東金本漸寺に遣わされ 一里一錢を除くべきものなり」と書いてあります。このように現存する手形は極めて少ないようです。

③ 日吉神社（大豆谷）

• 本殿

一間社流れ造り、桧皮葺きで向拝がつき、その柱には龍が、また手挟みには菊、脇障子の一枚板には梅がそれぞれ彫られています。施工及び手法からみて、元和年間（延宝年間（十七世紀）のころの建造と思われます。

下向…都から地方へ行くこと
下賜…高貴な人が下の人に物を与えること
旗本…江戸時代、将軍に直接仕えた家来
建立…寺院などを建設すること

・神使 申一対

神使…神の使い

古くから、神社にはその祭神にゆかりの動物を神使とする風習があります。日吉神社の神使は申です。この像は元禄八年（一六九五）九月に、上総国山辺郡台方村の木村嘉平次が奉納したもので、高さが百三十一センチメートルもあり、作者はわかりませんが、量感に富み、親近感のあるよい仕上りをみせています。

奉納…神や仏にさしあげること。
寄進

・表参道杉並木

日吉神社は、約二百メートルの参道の両側にそびえ立つ三十九本の見事な大杉で有名です。幹回りは四メートルから五メートル、高さも四十メートル前後のものがほとんどで、樹齢は三百五十年以上と思われます。この杉はさし木ではなく、地杉の実生（種子）をまいて苗を育てて植えたもので、吉野系統の種類とされます。元和元年（一六一五）に徳川家康がこの地を訪れた際に、日吉神社の再興を命じ、この杉を植えさせたと伝えられています。

樹齢…樹木の年齢

再興…衰えたり、滅びたりしたものをもりあげて、再び勢いよくすること

④ 浅間神社（東金）

・新宿浅間神社前の庚申塔

浅間神社…東金市の神社
33ページ

庚申とは干支の一つの「かのえさる」のことです。この日の夜は人間の内部にいるという二戸という虫が、人間が寝ている間に、天に昇つてその人間の罪状（悪い

行い）を神様に告げ、寿命を縮めてしまうといわれています。そこで庚申の夜は一晩中起きていて、庚申の神々をまつり、無事を祈ったそうです。この塔は、高さ百四十五センチメートル・幅四十五センチメートル・板碑型の見事なもので中央には「南無妙法蓮華經」の題目が、下部には「見ざる、聞かざる、言わざる」の三匹の猿が刻まれています。

⑤ 田間神社（田間）

⑥ 上行寺（田間）

⑦ 八鶴湖（東金）

「東金さくらまつり」も開かれ湖畔に映える夜桜は関東随一ともいわれています。もとは小池だったものを、徳川家康が東金御殿を築造したとき池を広げ、谷池または御殿前池とも称したそうです。

⑧ 東金（鶴ヶ根）城址（東金）

・御殿山（城山）

御殿山『碑林』一覧表によると、故小川一郎氏によつて建てられた東金市ゆかりの人々の文学碑や戦争遺跡の防空壕・「不戦古戦場、蛸壺」の碑石などが全部で二

板碑・石造りの卒塔婆

田間神社…東金市の神社
32ページ

上行寺…東金市の寺院
45ページ

東金城址…八つの城
16ページ

十二あります。

・東金御殿・代官所跡（東金）

東金御殿 20 ページ

⑨ 火正神社（上宿）

火正神社…東金市の神社
34 ページ

⑩ 田間城址（田間）

田間城址…八つの城 19 ページ

⑪ 丸山公園（日吉台）

・丸山遺跡

日吉神社の北側にある古墳時代から平安時代までの集落跡です。耕作中の畠から多量の焼土が掘り返えされたのがきっかけとなつて、昭和三十三年（一九五八）に東金高校の考古学クラブによる発掘調査が行われました。

その後、昭和五十年（一九七五）から大規模な調査が行われ、その結果約百戸の住居跡と多数の遺物が発見されました。現在では公園として整備されています。

・市東刑部左衛門の墓

市東刑部左衛門…東金に名を残した人々
した人々 89 ページ

⑫ 佐藤信淵先生家学大成之地（大豆谷）

佐藤信淵…東金に名を残した人々
91 ページ
家学…家に伝わり代々おさめて
きた特定の学問

(13) 久我政右衛門の筆塚の碑 (台方)

台方の久我家の墓地には、円筒形の石を台石上に乗せたデザインの筆塚がありま
す。久我家は、酒井氏の家臣の子孫で、政右衛門は江戸中期に家塾を開いて近くの
子どもたちを教えるとともに、「吐景」といふ俳号をもつ優れた俳人でした。

筆塚とは、ふつうは師の死後にその筆を埋めて供養するのですが、この碑は文化八年（一八一一）政右衛門の生きているうちに弟子たちが建てたものです。

(14) 作田東睡の墓碑(さくだとうすいのぼひ)
(田間)

中正寺跡に、江戸時代の俳人作田東睡の墓碑があります。

この墓は、上総地方の俳壇の草分けである東睡の志を生かすために、同門の中正寺跡に、江戸時代の俳人作田東睡の墓碑があります。

勝田乙驥や飯田雨林が先輩の白井鳥酔といつしょに建てたもので、

「降雪や打払はずに丸合羽」と刻まれています。

貴重な文化財といえるでしょう。

当時の俳人たちの友情がしのばれ、この地方で俳句が盛んだったことを知る上で、

(15) 和泉ヶ池 (東金)
いすみがいけ

(北之幸谷)

北之幸谷の稻荷神社の氏子に伝承された、一人立の獅子舞です。演目には平舞。

氏子・神が守ってくれる地に住む人々
伝承・伝え受け継ぐこと。また
その伝えられた事柄

和泉ヶ池・民話の数々 105 ページ

家塾・個人の經營する塾、私塾

四つ足・玉釣り・蛇狂・蛙狂・おそめなどがありますが、なかでも秋祭りに演じられる「はしご昇り」は、スリルのある技で有名です。昭和三十九年（一九六四）千葉県の無形民俗文化財に指定されています。

北之幸谷の本地獅子連に加わっている人たちによって、毎年三回定期的に演じられています。

⑯ 東金ばやし（東金・押堀）

日吉神社の祭礼で演奏されるおはやしで、曲目は四丁目・通りばやし・ばかばやし・雷ばやしの四つからなります。雷ばやしは押堀区の創作になるもので、独自の伝承をもっています。

⑰ 新宿囃子（新宿）

東金ばやしと同様、日吉神社の祭礼の時、新宿地区の氏子によつて演奏されるおはやしです。東金ばやし（四丁目・通りばやし・ばかばやし）を基調とし、他に中山・おそめ・かめのこ・越後獅子・金毘羅船々などが演奏されます。

創作..はじめてつくりだすこと

【公平地区】

⑯ 日殷上人の墓（松之郷）
にちいんじょうにん
まつのがう

日吉台近くの山中にある、本漸寺四世の墓です。

⑰ 本松寺（松之郷）
ほんしょうじ
まつのがう

・鐘樓
しょうろう

享保二年（一七一七）に建立された袴腰つきの鐘楼です。一階部分を板でかこみ、

階段を上った二階部分に鐘がつりさげられています。千葉県内でも貴重な建築物です。

・木刀塚碑
ぼくとうづかひ

本松寺の本堂に向つて左側、墓地の入口にあります。小野派一刀流を開いた剣の達人小野忠明は、將軍徳川秀忠に仕え、合戦で手柄をたてたことから、松之郷に領地を賜わりここに道場を開きました。四代忠一も、人格・剣技ともに優れた人物で、多くの門弟を育てましたが、その稽古は激しく、折れた木刀が山のようになりました。「木刀塚」とは、近くの神社の境内に折れた木刀を埋めたもので、忠一の十七回忌の宝暦四年（一七五四）に、その上に「木刀塚碑」を建て、亡き師をしのぶことにしたものです。

日殷上人・東金に名を残した人々
85ページ

本松寺・東金市の寺院48ページ

鐘楼・かねつきどう

・ 大榧

本堂右前にあるこの榧は、高さ二十メートル、幹回り四・二五メートル、樹齢は約三百年と推定されます。

本松寺は江戸時代初期に火災で焼失しましたが、本堂を再建するにあたって記念に植樹されたのがこの榧です。

(21) 八坂神社（松之郷）

・ 本殿

八坂神社は正応二年（一二八九）の久我城主北条久時の勧請と伝えられています。天王様とも呼ばれ、年二回の祭礼には大勢の参詣人があり、地域の人々に親しまれています。本殿は、明治時代に造られた覆屋によつて風雨から守られています。

・ 神使 牛一対

拝殿の前にある石像の牛は、寛保三年（一七四三）に九十九里粟生村の飯高十郎右衛門他四名によつて寄進されたものです。八坂神社にまつられているスサノオノミコトが、高天原を追われて出雲国（島根県）に逃げると、牛に乗つて逃げたことから、牛は八坂神社と縁の深い動物とされています。

八坂神社・東金市の神社
35ページ

勧請…神仏を他の地に移し、神社やお寺を建てる
付すること

寄進…社寺などに金銭物品を寄付すること

・ 銀杏
いのちよう

境内の西南、鳥居の左側にある神木です。高さ約二十メートル、幹回り三・七メートルあり、雌株で秋には実がなります。高さ約五メートルのところから櫻のやどり木が寄生しているのも珍しいようです。

② 願成就寺（松之郷）
がんじょうじゅうじ

・ 五輪塔
ごりんとう

鎌倉時代、北条氏により建てられた願成就寺のなかにあります。願成就寺は最初は禅宗でしたが、法華改宗の際に五輪塔は土中に埋められ、明治四十年（一九〇七）頃に、近くの若宮八幡神社あたりの畠から発見され、現在の場所に移されました。室町時代頃の作とされ、久我城主北条長時・久時・守時の三代の墓（三介の墓）といわれています。

・ 枝垂桜
しだれざくら

姥彼岸あるいは東彼岸とよばれる品種で、明治四年（一八七一）に、前からあつた古木「大桜」の跡目として植栽されたものです。市内の他の桜よりも早く、薄紅色の花を咲かせます。平成十三年（二〇〇一）に枯れてしまいました。

(23) ときがね湖（松之郷）

一周約三・八キロメートル、総貯水量二百三十万立方メートルのダムです。
平成七年（一九九五）に完成し、市民の新しい憩いの場となっています。

(24) 妙宣寺（家之子）

大絵馬一枚

妙宣寺…東金市の寺院
47ページ

縦百二十一センチメートル・横百六十五センチメートルで、絵柄は平忠盛が
油法師を捕らえている武者絵です。作者も奉納の由来も定かではありませんが、筆
つかいや絵具が素晴らしい、専門家からも高い評価を得ています。

(25) 北高福寺（求名）

・取子塚

取子とは、生まれた子どもが弱かつたりしたときに、親がその子を僧侶や神主に
もらつてもらい、無事に成長してから返してもらう風習です。

この塚は高さ六十八・五センチメートル・幅二十五センチメートル・厚さ十七セ
ンチメートルで、天明三年（一七八三）六月、日納上人の菩提供養のために、成人
した取子たちが建てた報恩の供養塔です。

報恩…恩に報いること

②6 道庭置上堰に關する貞享四年裁許書並びに絵図（道庭・石橋家）

この文書は、道庭村と田間村など十か村との間に起つた水争いについて、貞享四年（一六八七）に勘定奉行が下した裁決書です。置上堰での水のとりかたや、量についての細かい指示が記されています。

【豊成地区】

②7 武射神社（上・下武射田）

・夏越の神事

田植えが終わり季節の変わる六月晦日に行われる、邪神をはらい、災いを除く年中行事の一つです。慶長年間から四百年間も古式ゆかしく伝えられてきました。神事は古式に則つて厳肅に進行し、輪ぐりや人形（和紙を人の形に切りぬく）を用いた儀式の後、神事に使用した一切の物を作田川に流して終ります。いわゆる禊の神事です。

武射神社 東金市の神社
36ページ

晦日…月のおわりの日

嚴肅…おもおもしく、つつしみ
祓…川や海で身を洗い清める

と

②8 水神社（関内）
・絵馬三枚

この神社には多数の絵馬が奉納されています。

奉納…神仏に献上すること

十か村…田間・菱沼・宮・関内・前之内・堀之内・中野・殿廻・三門（御門）・二股（二又）

なかでも寛政二年（一七九〇）作の武者絵や嘉永五年（一八五二）作の江戸柳橋料亭図と裏神奈川台絶景図の三点は模写ながら、優れたものです。

模写…絵をまねて描き写すこと

②9 妙善寺（御門）

妙善寺（御門）
みょうぜんじ（みかど）

・乳銀杏

この銀杏は、明治三十八年（一九〇五）二月十日、日露戦争で亡くなつた御門出身の布留川一郎氏の供養のため、遺子の武雄氏が寄進したもので、その後成長著しく、房状の木根も数多く発生しています。

③0 豊成飛行場（士農田）

約二百ヘクタールの広大な農地に、昭和十九年（一九四四）に県内十番目の陸軍飛行場として完成しました。現在は、畑の中に格納庫の基礎部分が残つてているだけですが、平成四年（一九九二）、士農田の工業地帯のなかの公園内に『平和を呼ぶるさとの碑』が建立されています。

士農田とは、戦後この地に残り、農家となつた兵士から生まれた地名です。

妙善寺…東金市の寺院 49 ページ

寄進…社寺などに金銭物品を寄付すること
木根…空中に露出した根

豊成飛行場…東金飛行場ともい
う

格納庫…飛行機などを入れてお
くたてもの

建立…寺院などを建設すること

【正氣地区】

(31) 善導寺（北幸谷）

この寺には、八基の石碑（墓碑もある）が、並んで建てられており、その中の三つの碑には、俳句が刻まれています。

その一つは、二十四世住職だった日甘、俳号三化のもので

「おもふ事　忘れて居れば　秋の風」

三十三世住職日胤、俳号知一の碑のうら側にも

「咲（け）ばちる　ものとおもへど　花に風」

そして、俳人の葛飾可都良の墓碑には

「世の中は左も　むつかしや　千鳥啼（く）」

と刻まれています。

この寺は、俳人のいた寺として知られています。

(32) 植松是勝の数学書（宿）

植松是勝は、故郷宿村の自宅に約四十年間塾を開き、近隣の子弟を集めて関流和算を教授し、地域文化の発展に大きく貢献しました。是勝が用いた数学書は、塾をやめた後は散逸し、八十冊ほどしか残つてませんが、子孫の植松家に大事に保管されています。

植松是勝…東金に名を残した人々
92ページ

和算…日本古来の数学
貢献…力をつくすこと
散逸…まとまっていた、書物文
献などが散りうせること

管されています。

③幸田獅子舞（幸田）

この獅子舞のはじまりはよくわかりませんが、江戸中期の享保年間（一七一六～一七三五）、徳川家康ゆかりの朱ぬりの幸田橋がかけられたときには、村人が獅子舞を盛大に演じて祝つたそうです。現在では十月下旬の日曜日に行われ、本光寺、八幡神社、熊野神社、水神社の前で舞いを奉納します。また地区内を家ごとに「悪魔はらい」をして回り、村境に行つて「辻切り」を舞います。雄獅子・雌獅子・子獅子が一組となり、腹には太鼓をつけます。舞にはシャラブ・辻切り・宮参り・振り込みなどの型があり、囃子にはほかに中山・尻振り・四ヶ崎・四丁目などの曲があります。楽器は横笛・篠笛・締太鼓・大鼓（おおづみ）・小鼓・鉦（ちやんぎり）などで構成されています。

④新田開発（塙崎新田・家徳・広瀬）

江戸時代の農民は、収穫した米を年貢米として納めるしくみになつていきました。そのため当時は、米の増産のために耕地を広げる努力が続けられ、特に八代将軍吉宗の時代は盛んに新田開発が行われました。

東金地方に五百町歩の農地に使えそうな土地があることを知った江戸の商人

年貢米：昔、田畠や土地にかけた税としておさめた米

家徳忠張（屋号を家徳屋・佐藤次郎左衛門）は、北塚崎（家徳）を、十二年かけて開発しました。その間に二百町歩をゆずり受けた広瀬伝三郎は、南塚崎（広瀬）を新田に変えたのでした。

広瀬にある稻生神社には、五代広瀬兼直が、慶応三年（一八六七）に「田畠見之塚」を建てて、

「伝へおく こころは花の 折々も 業怠らで 田畠見乃塚」と和歌をきざみ、先祖の苦労をたたえています。

【福岡地区】

⑯ 要本寺（小沼田）

・落歯塚の碑

寛政九年（一七九七）、当時の旗本中川忠英によつて建てられたものです。

その頃は歯を自分の分身としてあがめ、歯がぬけると塚に埋めて碑を建て供養する風習が残っていました。この碑の下にも、忠英の歯が数個、壺に納められて埋まっていることが確認されています。

稻生神社…東金市の神社
38ページ

「伝へおく…」子孫に伝えておく、花咲き、心うかれるときも、先祖の開拓した土地の苦労を田畠見の塚を見るたびに、思い出すように

③六 妙經寺（大沼田）

・大沼田檀林跡

妙經寺..東金市の寺院49ページ

檀林..お坊さんの学校

この檀林は元和年間（一六一五～一六二三）に、十三世日乾上人の時に拡大され、全国各地から数百人の学僧が集まり、仏教經典の勉強が盛んに行われました。

二代將軍徳川秀忠は鷹狩の際に妙經寺に立ち寄り、朱印地しゆいんちを与えたと伝えられています。その後、宝暦五年（一七五五）の大暴風雨や慶応三年（一八六七）の火事など、悲運にみまわれながらも、檀信徒の協力で続けられた檀林ですが、明治七年（一八七四）、ついに廃校となりました。

③七 大関城址（依古島）

朱印地..江戸幕府が寺社に対しても朱印状を与え、その所領を確認した土地
廃校..学校を廃止すること。
た、廃止した学校

大関城址..八つの城12ページ

【大和地区】

③八 法光寺（田中）

・閻魔王坐像

法光寺..東金市の寺院51ページ

この木像は、文明十五年（一四八三）前後の作と推定されます。伝承によれば、この像は赤人塚の付近にあつた閻魔堂内に安置されていたそうです。しかし長享二年（一四八八）の酒井定隆の改宗令の際に、ひそかに地中に埋めてかくしたものを、

寛文年間（一六六一～一六七二）になつて堀り出され、法光寺にまつられたと伝えられています。

この像は、坐高六十六センチメートルで杉材を前後たてにはぎ合わせた寄木造で、右手はなくなり、ぬられていた色は長年土の中にあつたために、はげ落ちてしまい、虫食いの小穴が無数にあいています。閻魔王は、本来地獄の王として恐れられていますが、この像は表情や体勢にも恐ろしさがなく、簡素でおだやかささえ感じられます。

・山辺赤人坐像

この像は、桧でつくられた坐像で坐高十八センチメートルで彩色されています。

像はゆるかやなふくらみを見せ、ゆつたりと片ひざ（左足）を立てて座り、笑みをふくむ顔の表情はすばらしい出来ばえで、まさに一首を歌い出そうとするかのような歌聖の姿が、たくみにとらえられています。作者は不明ですが、たぶんこの地に赤人伝説のおこつた文化年間（一八〇四～一八一七）ごろの作と思われます。

(39) 雄蛇ヶ池（田中）

江戸時代初期の、慶長九年（一六〇四～一六一四）にその時の代官嶋田伊伯が、くぼ地に三百三十メートルの堤防を築いて貯水池を十年かけて造りま

山辺赤人…山部赤人とも書く。
奈良時代初期の万葉歌人。柿本人麻呂とともに歌聖といわれた
歌聖…和歌にもっともすぐれた人

嶋田伊伯…東金に名を残した人々
87ページ

した。「雄蛇湖」おじやがこ 「房総十和田湖」ぼうそうとわだこ とも呼ばれています。

数々の伝説のある湖です。

【丘山地区】

④ 六所神社（小野）

・大杉

高さは約三十メートル・幹回り四・五五メートル・樹齢は四百年といわれ、市内屈指の名木です。天正年間（一五七三～一五九一）、六所神社が勧請されたときに、植樹されたものです。

④ 小町塚（小野）

小野の岡の谷の六所神社近くに「小町塚」がありました。小野小町にちなんだ塚で、その下には小町が使っていた機織の道具の「オサ」が埋まっているといわれていました。

小野小町は平安六歌仙の一人として有名な歌人でしたが、全国各地に小町伝説が伝えられています。この小町塚は区画整理事業くかくせいりじぎょう であとかたもなくなつてしまいまし
たが、小町公園が記念に造成されています。

樹齢・樹木の年齢

六所神社・東金市の神社
39ページ

勧請・神仏を他の地に移し、神社やお寺を建てること

六歌仙・平安時代初期の六人の
和歌の名人

(42) 表谷鞆鼓舞（小野）・

毎年旧暦九月十九日（十月中旬）の、六所神社の秋祭りに表谷鞆鼓舞連（上関田・下関田・池之辺田・新田）が演じます。舞には横つとび・道中・四方がかり・夏見などがあり、横笛や篠笛、締太鼓や小鼓などで編成されたお囃子にのつて速い動きで舞います。

(43) 鉢ヶ谷遺跡（小野）

この遺跡は、小野山田工業団地（千葉東テクノグリーンパーク）の中にありました。発掘調査は、平成七～八年（一九九五～一九九六）に行われ、旧石器時代（約二万年ぐらい前）から平安時代にかけての生活した跡がたくさん発見されました。

特に完全な形で発見された縄文時代中期（約五千年前）のカツバ型土偶は全国的にも数点しかなく、土偶といっしょに発掘された三点の土器を含めて、千葉県指定文化財になりました。

(44) 貴船神社（山田）

・御神的神事

毎年一月四日に行われます。慶安四年（一六五一）から始まった「おびしや（武射）」で、十二本の矢を放つてその年の農作物の豊凶を占う、古式ゆかしい神事です。

貴船神社・東金市の神社
39ページ

・大松
おおひいらぎ

拝殿の右側にそびえるこの大松は、高さ約八メートル・幹回り一メートル、樹齢じゅれい約三百歳といわれています。

④⁵ 墨染桜（山田）
すみぞめさくら

貴船神社の近くの小高い所に、墨染桜とよばれる桜の古木があります。花の咲き始めは桃紅色ですが次に紅白色に変り、二十日ほどたつと黒くなつてしまんで落花すると言われています。

伝説によれば、文治二年（一一八六）、西行が奈良東大寺再建の勧進のために諸国を巡つて、小野小町や山辺赤人ゆかりのこの地へ立ち寄つた際に、貴船大明神を安置し、その時山城国（京都府）深草から、杖にして来た桜の枝を地につきさして、

「深草の野辺の桜木 心あらば またこの里に 墨染に咲け」

どうたつて去つたところ、やがて枝から芽があふき、大きく成長して花を咲かせたそうです。この木が墨染桜となつたといわれています。

④⁶ 天正十九年上総国山辺郡山田村御水帳（山田）
てんじょう かずさのくにやまべこおりやまだむらおみずちょう

検地けんちという農耕地の測量は、戦国時代末頃から全国各地で行われました。上総地方では天正十九年（一五九一）に実施されています。山田村御水帳は、鈴木家に代々

西行・鳥羽院に仕えた武士。二十三歳のとき出家、多くの歌を残した

「深草の」・草深い野山の桜よ、人々の願いどおり、この山里に、今年も墨染めの桜を咲かせてくれよ

検地…田や畠を調べて、土地の境・広さ・値段・作物のどれなどを見ること

伝えられました。これは、山田村の田畠を一筆ごとに実測調査して記載したもので、当時の農村生活のようすを知る貴重なものです。

記載..本や書類に書いて載せる
こと

④7 高札四枚（油井）

高札とは、おきて 捷や禁制などを板に書いて掲げ、その趣旨を人々に周知させるためのものです。橋本家に保存されているこの高札は、いずれも江戸時代のものです。

捷..守らなければならぬきま
り
趣旨..ことがらの意味・目的

【源地区】

④8 薬王寺（上布田）

・布田の施餓鬼

ふだんは静かな寺が毎年九月七日と八日の「施餓鬼」には、大変な人出でにぎわつたそうです。かつては一万人もの人たちが集り、おこもりをし、一晩中寺のまわりで、歌やおどりに夢中になつたといいます。

薬王寺..東金市の寺院 52 ページ

施餓鬼..飢えに苦しんで災いをする、鬼や無縁の亡者の靈に飲食を施すこと

④9 二社神社（極楽寺）
・絵馬

この絵馬は高札形の松板を使って作られ、縦百三十二センチメートル・横二百十

四センチメートル・高さが中央部で百四十六センチメートルの大型のものです。絵は稻作作業の過程が順に描かれ、人物四十名、馬二頭が登場する絵馬です。田起し・種まき・代かき（馬とからすき）・田植え、草取り・稲かり・脱穀（かなくぎ）・唐みによる選別・もみすり（すりうす）・俵かがり・蔵入れの順序に描かれ、彩色されています。

奉納されたのは明和二年（一七六五）頃ですが、その後の慶応二年（一八六六）に一度修復されています。

⑤0 明治の模範村 源村

明治後期、日本は日清戦争によつて、国力が低下してしまいました。そこで、明治政府は、国民の協力によつて国力を回復させようと、地方改良運動を推進しました。これは、国民に山林の面積を広げるために植林して収入を増やしたり、むだづかいをへらして、貯金をすすめたことなどです。さらに、全国に模範となるような農山漁村をいくつかえらんで、表彰を行いました。

源村は、村民一同が協力し、村の財政再建に成功したことなどにより、官報などに紹介されました。

また、明治三十六年（一九〇三）に内務大臣や地方長官が視察に訪れ、さらに全国的に知れ渡り、多くの視察者が訪れました。明治三十八年（一九〇五）には、

官報・政府が国民に知らせる事柄をのせて、毎日発行する印刷物

内務省作成のパンフレットにより、宮城県生出村と静岡県稻取村とともに、海外にも紹介され、記録映画も作られました。